

令和 3 年 3 月 31 日

編集 岩国市文化協会
発行

<http://www.iwakuni-bunka.com/>

〒740-8585

岩国市今津町1-14-51

岩国市市民生活部

文化振興課内

印刷 (有) 国際 総合

岩国文化



月下秋思

【主な内容】

月下秋思

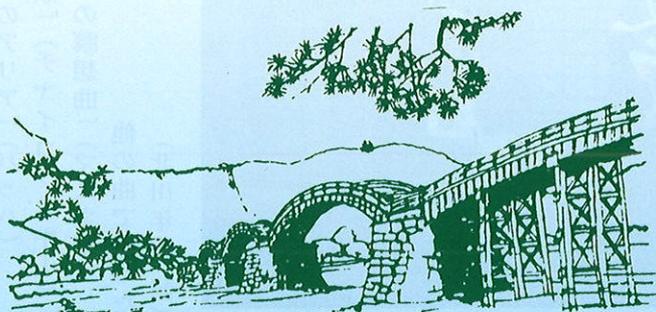
市民文化祭

小島なお短歌研究会

文化功労賞等表彰

団体活動紹介

行事報告



月下秋思

(十月二十四日・二十五日)

かつて、誰も経験したことのないコロナ禍において、様々な事業が中止や延期を余儀なくされ、文化を取り巻く状況が、これほど厳しさを増すことを誰が想像できたであろうか。何も解らなかつた春先から半年が過ぎ、感染リスクを避けるための対処方法も臆気乍ら見え始めてきた。事業開催の方法を探り、たとえ小さくとも可能性を見出して文化の灯を消さず、未来へ向かつてのチャレンジとしてこの事業を開催した。季節はまさに《秋》。木々に囲まれ閑静な吉香茶室に相応しい内容とするため、「月下秋思」をテーマに選び、概ね三つの事業を開催した。

《呈茶席》小さい茶室(旧茶室)

二十四日(煎茶)・二十五日(表千家)

籠から紅葉を配し、結界を張るようにメインテーマである【月下秋思】に沿うような設えや、細水差しを用い、中置点前の飾りつけ等により秋を感じさせる雰囲気 연출した和室での呈茶席であった。



《秋の誘》大きい茶室(新茶室)

二十四日・二十五日

蔵重 伸(池坊)さんによる華道作品の展示が行われた。アプローチから玄関、廊下から待合、大広間まで、大小様々な作品を配置し、メインテーマ【月下秋思】に沿って、移ろいの儚さの中にも、命の力強さを感じさせる空間を創出した。



《朗読と音楽の夕べ》小さい茶室と庭

二十四日・二十五日



嘉音(瀬川嘉)さんの朗読と、河本真樹子さんのヴァイオリン、藤見清加さんのチェロの演奏の響きと、銀色の月の光とやや鋭利さを増した秋気の中に身を置くことで、それぞれの感性と経験と創造の融和の中に浸る心地よさに酔いしれた我々が、確かにそこに居た。

朗読されたのは、

「落葉」(ポール・ヴェルレーヌ)

(上田敏・訳)

「月」(上田敏)

「ピアノ」(芥川龍之介)

「悪魔」(芥川龍之介)

「どんぐりと山猫」

(宮沢賢治) 二十四日のみ

「注文の多い料理店」

(宮沢賢治) 二十五日のみ

演奏されたのは、

「アヴェ・マリア」(グノー)

「G線上のアリア」(バッハ)

「秋の歌」(チャイコフスキー)

「タイスの瞑想曲」(マスネ)

他の曲であった。

(北川年明記)



第64回 岩国市民文化祭

10月2日～4日 第24回合同クラフト展



10月25日 第64回市民俳句大会



3月19日～21日 第10回岩国市水墨画展



小島なお短歌研究会入賞作品

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため誌上大会となりました。)

【1席】

前を行く軽トラのナンバー三一五刺繡糸ならうすみどり色

近藤 順子

見るともなく見てしまう車のナンバープレート。きつと手芸の好きな作者なのでしょう。「三一五」という数字から、刺繡糸の色番号を連想した飛躍の自在さ。「うすみどり色」が芽吹きのように柔らかに彩ります。

【2席】

海臨む特室ほめてあした眼の手術する人置きて帰りぬ

原田 雅子

「特室」は病院の特別室のことと読みました。海の見える部屋に入院する人を見舞う一場面。眼を病むその人には窓ごしの海が作者ほどには見えないのかもかもしれません。「ほめて」のち「置きて帰りぬ」に至る内面の機微を思います。

【3席】

昨今の事情にはじまり閉店とお礼の言葉が理髪店のドアに

村本瑛智香

地元で長く愛されていた理髪店だったので。ドアに貼られた閉店のお知らせには、丁寧な文章でこれまでの経緯や感謝が述べられていた。何年あるいは何十年に渡る人と人との歳月が、簡潔な一首の余白に滲みます。

「好きだろう」竹筒ぼうの熱燭をそそぎ去りたり竹の香残し

正木 富子

着ては脱ぎ脱いで着ては姿見に明日をたしかむ春の瀬祭

木村 桂子

十五夜を仰ぐベランダ逝く時に手をつなぎし祖母手放しし母

好本 幸恵

点滴の針を刺せる場所もうなくて窓に張り付くヤモリ見ている

石井久美子

真つ裸わたしを洗ふヘルパーさん三人めかも腹ふくらみて

片原 政子

工場の自販機の声「頑張って気を抜かないでご安全に」

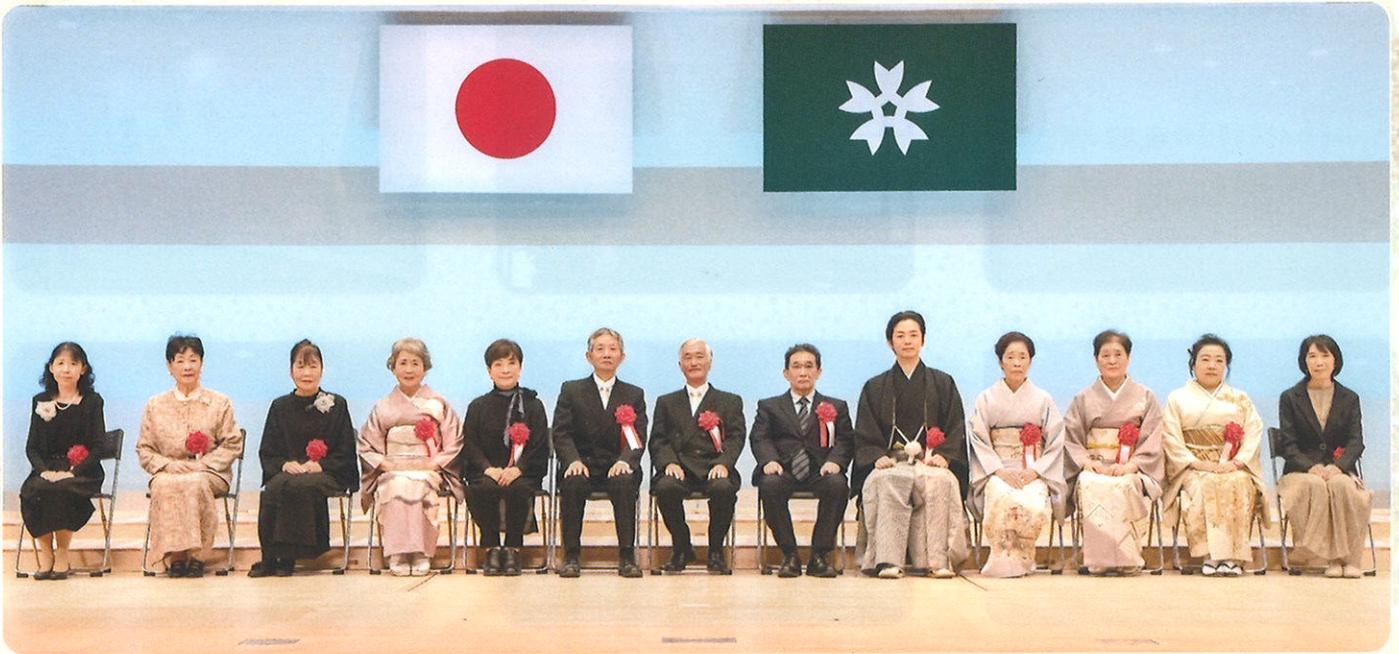
福森トミヨ

真二つに切られて並ぶ白菜に陽の射しくれば黄に炎だつ

藤伊 花子

栄えある受賞 おめでとうございます

11月3日(火・祝)に岩国市と岩国市文化協会の合同で表彰式を行いました。



前列右より

福本 紫泉

沖本 歌叡

村川 京子

藤間 浄子

菅源 右近
(代理)

山本 一遊

田村 順玄

岸村 進
(代理)

島崎 陽子

都留 宏子

御庄 篁代

三才流盤景
岩国錦晃会

小野 智美

●岩国市文化協会表彰

久能賞

久能賞は、初代会長である久能寅夫先生の顕彰会からの寄付金を基金として、文化振興に功績のあった他の模範となる個人や団体を表彰するものです。

個人
島崎 陽子 (スタジオ美の小徑)

文化功労賞

文化功労賞は、文化振興、協会、加盟団体の発展に永年貢献し、功績があった個人や団体を表彰するものです。

個人
菅源 右近 (菅源流剣詩舞道 岩国支部)

都留 宏子 (草笛短歌会)
藤間 浄子 (藤間流 藤津会)
御庄 篁代 (草月流岩国)
村川 京子 (武者小路千家山口官休会 岩国支部)

団体
三才流盤景岩国錦晃会 (華道)

文化奨励賞

文化奨励賞は、芸術文化の分野で高い評価を受け、今後の活躍が期待される個人や団体を表彰するものです。

個人

沖本 歌叡 (筑紫 樹音の会)

小野 智美 (岩国ジャズバレエ研究会)

福本 紫泉 (岩国文化書道院)

●岩国市表彰

文化功労賞

岩国市文化功労賞を受賞されました皆さんのご紹介です。

個人

岸村 進 (NPO法人錦川環境教育学会)

田村 順玄 (岩国演劇研究会 「劇団のんた」)

山本 一遊 (書道一遊会)

山口県文化功労賞

安東 榮一

地域文化功労者表彰 (文部科学大臣表彰)

宮本 歌千穂

(敬称略)
(五十音順)

令和二年度 団体活動紹介

■宮城会岩国寿三の会 第三回邦楽演奏会

年一回、門下生の温習を兼ねて地歌・箏曲の発表の場を作っています。夏場にかけて新型コロナウィルスの感染が落ち着き、イベント等開催のガイドライン等が公表されたことを受け、これらに沿って開催いたしました。

小人数ですが、古曲や宮城道雄作の曲を中心に、なるべく一人弾きでマイクを使わない生音での演奏を目指しています。箏や三味線の音楽は、和室で発達してきたので、できるだけそれに近い環境でお聴きいただきたいと思っています。

今回、新装なった吉香茶室を使わせていただくことになりました。歴史と伝統のある場所で心地よい緊張とともに演奏できました。

(浜川呼月記)



■写団「のら犬」写真展

毎年開催して三十五年目になる我が写真展ですが、今年も、開催が危ぶまれる中、なんとか開催する運びとなり、そんな中沢山の方々に、ご覧になって頂きました。

会員一同やってよかったです、胸をなで下ろしております。

折角一年かけて撮る一枚一枚は、自身の思いですから、見ていただくことで、これに勝る作品作りの喜びはありません。

それにしても、ここ一年の撮影のしづらさは、カメラマンにとつては大変で、会員の皆も大変苦労しました。これを良い方向に考えて、今年一年、会員はなお一層努力して、次なる写真展に向けて頑張っていこうと、会員一同奮起しており、皆様にいい作品を見て頂けるよう、いいシャッターを押し続けていこうと思います。

(篠原芳弘記)



■岩国家刻会五周年記念作品展

二十周年を迎えた岩国家刻会が、篆刻体験のボランティア活動を始めて五年になります。

錦帯橋ゆかりの独立性易禅師が「日本篆刻の祖」であり、岩国の歴史に沢山の文化を残した事を学んだ会員達が、「篆刻体験」を通して皆様に篆刻の楽しさを知ってもらえた五年間でした。その間、日々自分の作品創りを楽しみ、技術を磨いてきました。

その一生懸命の作品を覗いていただけたこの展示会には、自由な発想で仕上げた印影の数が約一五〇点にもなりました。コロナ禍の中、観覧者三五三人と篆刻体験一六四人の皆様を迎え、会員一同感動の展示会でした。

今後も篆刻の面白さを伝えながら、後継者の育成に励みたいと思います。

(大石紗夢記)



■正派紫陽会第四十九回箏曲発表会

コロナ禍厳しき中、令和三年一月十七日、ホテルかんこうにて「発表会」を開催致しました。私を見張っているであろうコロナと相談しながら、演奏は二時間以内、演目は七曲まで、出演は希望者のみ（総勢六十三名でした）と決めました。従来よりかなり小規模の会となりましたがその分ゆつたりと構え、中身の濃い「発表会」であったかと思えます。

お客様方は「最近は何もかも中止で、気が変になりそうです。ようこそこの様な会をして下さいました」と大変よろこび下さいました。

このような折、尺八諸先生方の御賛同、又市関係の御後援がいただけました事に、対し衷心より厚く御礼を申し上げます。

(長嶺雅紫穂記)



受賞者の紹介

◎岩国市民俳句大会 (十月二十五日)
市長賞 島津教恵

「帰省子のまつ寝そべりし青畳」

◎岩国市民短歌大会 (誌上大会)
市長賞 金光紀代子

「豆ご飯炊ぎてありぬ独り居の
姉は逝きたり戸締りもせず」

◎山口県川柳大会 (岩国市民川柳大会)
(誌上大会)

山口県知事賞 田中博美

「人間が群れて漂う火の匂い」
ほか五句

新・岩国百景



雪の岩国城(横山)
写真・田中ちづ子(写団「のら犬」)

令和2年度 市美展 文化協会長賞

彫刻・工芸・デザイン 一般
森都子



書道 高校
弘中光咲



書道 一般
村上芳舟

写真 一般
廣木敏子



絵画 一般
神田かずみ



絵画 高校
弘中聖輝



(敬称略)

文化協会行事報告 (令和2年度)

令和2年	4月19日	小島なお短歌講演会↓中止 (受賞作品は三ページに掲載)
6月11日	第一回理事会	代議員会(書面表決)
7月28日	岩国市文化協会文化功労賞等 選考委員会	二〇二〇年度山口県文化連盟 総会(書面表決)
7月28日	久能賞選考委員会	
7月30日	第二回理事会	
10月15日	第三回理事会	
10月24日	月下秋思	
11月3日	岩国市文化協会文化功労賞等 表彰式典	
11月7日	錦帯橋芸術祭	
令和3年	2月25日	第四回理事会

『岩国市文化協会ホームページ』

会員の皆様の催し物、活動状況、新規会員の募集等さまざまな情報を発信しております。たくさんの方の情報をお待ちしています。

「岩国市文化協会」検索

文化協会役員紹介 (令和2年度)

顧問 福田 良彦
名誉会長 藤谷 光信
会長 安東 榮一
副会長 宮本歌千穂
江村 恒子
藤本秀規
北川 年明
石井 寿浩
平田 博英
森 香翠
島津 教恵
弘兼 安雄
中谷 久江
岩澤 幸子
藤永 具視
宮本歌穂湖
正鬼 宏
藤間勘津代
竹本 眞風
菅原 右光
市岡 萬邦
田村 晴月
志谷 怜子
土屋 賦雄
上田 博
マサキユミ
上河内寿夫
河口 郁史
平田 博英
福多歌寿紀
廣重 光風
賀屋 悠山
柳澤 静子
岩見屋 健
石川 善久

監査 映像
評議員 美術
邦楽

参与

(令和三年三月一日現在)